地方の時代，さらなる期待が集まる公設試験研究機関 ～産と産，産と学との接着剤として～

福田 明 徳*

プラスチック生産量は年間 1400 万トン前後を推移しており，その大部分が全産業分野で使用されている。プラスチックが広範囲な分野で使用されているのは，材料の易成形性による合目的製品の製造が容易なためであるが，それには高度な成形加工技術とその開発が不可欠であり，このことが景気低迷期に関わらず，本学会の活動が活発であることを反映しているのであろう。

ところで，近年，研究・新製品開発の高効率化による国際競争力アップを目指して，産学官連携，特に産学連携が国を挙げて強く提唱・推進されているので，ここでは，スポットライトから少し外れた官（公設試験研究機関），の当該産業への過去から現在に至る“連携”の一例を簡単に述べ，課題等にも少し触れたい。先ず，過去を遡った一例を挙げると，昭和初期ではプラスチック材料製造・成形加工業者は関西に多く，卓近な例で恐縮であるが，1936 年には筆者の古巣である大阪市立工業研究所では企業への技術の啓蒙と技術移転を目的に，プラスチック講習会を開催し，戦争による中断を経て 2003 年には第 52 回を迎え，その間，1955 年にプラスチック技術センターを設立して企業との共同研究・技術指導に努めていた（日本化学会編“日本の化学百年史”（1978 年，東京化学同人））。

このような経緯があったためか，（社）西日本プラスチック製品工業協会では西日本団体会員代表者懇談会時に，その傘下の（財）プラスチック技術振興センターが中心となって，各府県市工業技術センター・研究所プラスチック担当者会議を開催し，プラスチック業界の技術的課題解決等についての情報交流を図っており，2003 年 3 月に第 25 回が奈良で開催されている。一方，担当者会議が毎年 1 回開催の情報交換だけで終わっているのは勿体ない，産をもっと積極的に支援できないか，との意見が多くなり，有志が集まり，両法人がバックアップして，産学官プラスチック成形加工技術開発推進会議（Joint Promotion Meeting for Technological Developments in Polymer Processing, J-Pro）が平成 11 年に誕生した。この組織は関西圏に亘る広域での産学官連携組織であると言う大きな特徴があり，成果をも挙

げているので少し詳しく紹介する。

J-Pro の趣旨は「産学官の密接な連携のもとにプラスチック成形加工等の技術開発と業界の技術的諸問題の解決を図り，産業・経済の発展に寄与する」ことであり，構成員は学・官のプラスチック技術・研究者と上記法人の会員からなり，発起人でもある濱田泰以氏（京都工芸繊維大学大学院教授）が議長を務めており，15 年度の学官の会員は学から 6 名，官からは国研も含めた 17 名からなっている。活動の仕組みは上記法人会員から提案されたテーマ内容を学官の会員で審議し，共同研究テーマとして採択したものについては研究内規を取り決めて研究テーマ毎にワーキンググループ（WG）を作り共同研究を実施し，成果の取りまとめと報告を行うことからなっており，研究テーマとしては短期から長期に亘るものまでである。参考までに WG の一例を挙げると，成形材料替え時や成形条件設定時に多出する団子のリサイクル，廃棄 PET ボトルリサイクル，生分解性プラスチック，成形工場 IT 化，射出圧縮成形等があり，既に本学会で研究発表された成果もある。いずれも産が直面している技術課題からなっており，スリム化して技術者が少なくなっている企業の技術力アップと即戦力化に J-Pro は大きく期待されている。

最後に，公設試験研究機関への期待を述べる。当該機関の技術・研究員は常時，企業規模を問わず，多種多様な分野の企業の方からの技術相談や依頼試験分析に対応しているので，多くの企業の方との人的なネットワークを持ち，また，各種学会での研究発表並びに各種研究会のメンバーとして学の先生方とのネットワークをも有するので，官の役割は産と学を結びつける接着剤または糊代ではないかと思われる。また，産学連携は，国立大学法人化によって，今後より一層促進されることと思われるが，この流れに乗り難い中堅並びに中小企業を学に又は大企業に結びつける〈きめ細かい対応をする接着剤〉の働きも公設試験研究機関に課せられた大きな役割と思われる。このような役務を効率よく遂行するためには，官同士のさらなる緊密なネットワークの構築と組織の条件整備及び試験・研究員 OB の活用をも含めたマンパワーの活用を含めた充足・補強等が大きな課題の一つであろう。今後，さらなる発展を期待する。

* Fukuda, Akinori
（社）大阪工研協会
大阪市城東区森之宮 1-6-50（〒536-8553）
スターライト工業（株）
栗東市上砥山 2222（〒520-3004）
2003. 11. 25 受理